

国家試験「知的財産管理技能検定」

＜今後の実施予定＞

試験日	第32回 2019年3月3日（日）	第33回 2019年7月21日（日）
実施 試験種	1級学科試験：ブランド専門業務 1級実技試験：特許専門業務 2級学科試験・実技試験 3級学科試験・実技試験	1級学科試験：コンテンツ専門業務 1級実技試験：ブランド専門業務 2級学科試験・実技試験 3級学科試験・実技試験
実施 地区	北海道、宮城、茨城、東京、神奈川、石川、長野、静岡、 愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、香川、福岡 ※実施地区は追加になることがあります ※1級実技試験は、東京地区のみでの実施となります ※特別臨時会場制度については下記HPをご覧ください 【特別臨時会場制度】 http://www.kentei-info-ip-edu.org/tokukai	北海道、宮城、茨城、東京、神奈川、石川、長野、静岡、 愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、徳島、福岡
申請 受付 期間	個人Web申込／個人郵送申込・団体申込	
	2018年10月25日～2019年1月23日	2019年2月7日～6月12日
合格 発表	2019年4月15日	2019年9月2日

※実施地区、申請受付期間、合格発表日等は変更になることがあります。最新の情報は都度検定HPをご確認ください
 【知的財産管理技能検定 年間実施予定】 http://www.kentei-info-ip-edu.org/exam_yotei

＜第30回試験（2018年7月8日（日））実施結果データ＞

・申込者数、合格者数（人）

試験種	申込者数	合格者数
1級（特許）学科	—	—
1級（コンテンツ）学科	195	18
1級（ブランド）学科	—	—
1級（特許）実技	—	—
1級（コンテンツ）実技	—	—
1級（ブランド）実技	30	11
2級学科	1,773	873
2級実技	1,488	707
3級学科	3,268	2,060
3級実技	3,039	1,862
合計	9,793	5,531

・学生現役3級合格ランキング（学生3級合格者の所属する学校上位ランキング）

順位	大学・大学院ベスト10
1	東洋大学
2	徳島大学
3	早稲田大学
4	日本大学
5	大阪工業大学
6	大正大学
7	国士舘大学
8	中央大学
8	名古屋大学
8	立命館大学

順位	専門学校ベスト5
1	東京法律専門学校
2	HAL東京
2	大阪総合デザイン専門学校
2	東京バイオテクノロジー専門学校

※第30回検定試験で3級技能士となった者を
集計
 ※受検申込時にとった任意アンケートを集計
 ※出身大学の集計ではありません

順位	高校・高専ベスト10
1	群馬工業高等専門学校
2	香川高等専門学校詫間キャンパス
3	旭川工業高等専門学校
3	岩手県立黒沢尻工業高等学校
3	岐阜農林高等学校
3	沼津工業高等専門学校
3	神奈川県立向の岡工業高等学校
3	東京工業高等専門学校

<知的財産管理技能士数>*第30回試験結果までの合計人数 (人)

1級 (特許専門業務)	1級 (コンテンツ専門業務)	1級 (ブランド専門業務)	2級 (管理業務)	3級 (管理業務)	合計
1,759	307	192	32,118	57,796	92,172

<都道府県別技能士数>*2018年8月現在の登録住所 (人)

都道府県	1級 (特許専門業務)	1級 (コンテンツ専門業務)	1級 (ブランド専門業務)	2級 (管理業務)	3級 (管理業務)	合計
01/北海道	3	1		392	893	1,289
02/青森県	1			65	129	195
03/岩手県	3			65	181	249
04/宮城県	13	1	1	271	576	862
05/秋田県	3	3		46	98	150
06/山形県	3			47	128	178
07/福島県	12	1	2	175	361	551
08/茨城県	39	4	2	707	1,299	2,051
09/栃木県	23	1	3	283	507	817
10/群馬県	13		1	208	373	595
11/埼玉県	121	24	14	2,374	4,372	6,905
12/千葉県	116	14	11	2,074	4,142	6,357
13/東京都	409	151	63	8,136	13,990	22,749
14/神奈川県	329	40	26	4,621	7,030	12,046
15/新潟県	10	2	2	224	454	692
16/富山県	8	1		193	335	537
17/石川県	6			127	558	691
18/福井県	8	1	1	87	146	243
19/山梨県	6			118	183	307
20/長野県	31	1	2	491	532	1,057
21/岐阜県	13	2	1	288	616	920
22/静岡県	47	4	6	752	1,160	1,969
23/愛知県	77	3	7	1,481	2,944	4,512
24/三重県	16			302	477	795
25/滋賀県	21	3	2	408	703	1,137
26/京都府	63	3	3	867	1,991	2,927
27/大阪府	160	21	18	2,719	4,925	7,843
28/兵庫県	82	9	11	1,560	2,627	4,289
29/奈良県	39	3	6	448	696	1,192
30/和歌山県	5	1		96	172	274
31/鳥取県	1			48	86	135
32/島根県	2			51	79	132
33/岡山県	4	2	2	334	643	985
34/広島県	10	2	1	487	771	1,271
35/山口県	8			156	280	444
36/徳島県	2	1	2	83	578	666
37/香川県	6	1		158	295	460
38/愛媛県	3			160	329	492
39/高知県				45	87	132
40/福岡県	21	3	2	582	1,215	1,823
41/佐賀県	1			48	107	156
42/長崎県	1			47	122	170
43/熊本県	3			82	172	257
44/大分県	5	1	1	66	147	220
45/宮崎県	6		1	40	73	120
46/鹿児島県	5	1		53	100	159
47/沖縄県	1	2	1	53	114	171
総計	1,759	307	192	32,118	57,796	92,172

【知的財産管理技能検定】 <http://www.kentei-info-ip-edu.org/>

知的財産アナリスト認定講座

「知的財産アナリスト」は、企業経営・ファイナンス・知的財産の専門知識を基に各種情報の収集・分析・評価等を行い、企業の戦略的経営に資する情報を提供することにより、経営と知的財産を架橋できる専門人材です。知的財産教育協会では、「特許」と「コンテンツビジネス」の2つの領域に特化した講座および認定試験（学科試験・実技試験）を実施し、資格認定を行っています。

資格認定後の知的財産アナリストの多くは、知的財産アナリストの知識・スキルを活用し、様々な教育機関・メディアにおいて講師活動や執筆活動をするなど活躍しています。また、企業や特許事務所から知的財産アナリストを対象とした求人が寄せられ、随時募集も受け付けています。採用された知的財産アナリストは採用企業・事務所から高い評価を受けています。

※2018年9月現在の認定者数は、合計780名です（特許領域624名／コンテンツ領域156名）。

・知的財産アナリスト認定講座（特許） http://ip-edu.org/ipa_nintei

モノづくり領域を題材に、知財情報とマーケティング情報等を解析して過去分析のみならず将来予測まで行うユニークな手法を学び、経営企画、研究開発、知的財産等の関連部門と連携しながら、M & Aに代表される知財デューデリジェンスの実施や知的財産報告書の作成、経営層への経営戦略・知的財産戦略の策定・提案等ができる専門人材「知的財産アナリスト（特許）」を養成しています。最近、2017年4月に発表された「知財人材スキル標準」（version2.0）に追加された『IP ランドスケープ』業務の担い手としても注目されています。

＜シニア知的財産アナリスト（特許）認定制度＞ http://ip-edu.org/ipa_senior

知的財産アナリスト（特許）のなかでも、知財と経営を架橋する人材として、特に優れたレポートを作成するスキルおよびプレゼンテーションのスキルを有する者を認定する制度です。2018年度は新たに6名を認定し、認定者数は合計20名となりました。

・知的財産アナリスト認定講座（コンテンツ・ビジネスプロフェッショナル） http://ip-edu.org/ipa_con

コンテンツを活用した事業活動や社会活動は、コンテンツ産業のみならず広い範囲の産業においても行われつつあり、事業の海外展開やその結果としてのインバウンドの増加、関連産業への波及効果による地域経済の活性化などが期待されています。このような背景の中、本講座では、多様な産業において不可欠となってきたコンテンツの活用において、コンテンツやその事業を「ビジネス」の観点から評価・分析し、収益を生み出すための戦略的な事業計画の策定・提案等ができるプロフェッショナル「知的財産アナリスト（コンテンツ）」を養成しています。

本講座の講師および優秀修了者の知見から最新トピックを取り上げる「コンテンツビジネスのための無料公開セミナー」は、毎回好評を得ています（不定期開催）。

＜直近の開催実績＞ http://ip-edu.org/ipac_seminer

・2018年8月29日（水）19：00『実践！コンテンツの権利処理の基礎～権利構造の理解と権利処理の実例から～』

■今後の実施予定 <http://ip-edu.org/ipa>

知的財産アナリスト認定講座（特許）	第22期講座：4日間（7科目）2019年1～3月頃（予定）
知的財産アナリスト認定講座（コンテンツ・ビジネスプロフェッショナル）	第14期講座：4日間（11科目）2019年4～5月頃（予定）

各領域の認定講座や関連イベントの開催情報、講座修了者の活動・成果、知的財産アナリストを対象とした求人等の情報をメールマガジンで発信しています。本資格の取得や活用をお考えの方は、お気軽にご登録ください。

【知的財産アナリスト無料メールマガジン「IPA通信」】 http://ip-edu.org/ipa_ml

産業財産権制度調和に係る共同研究調査事業

当財団の知的財産研究所では、「平成30年度産業財産権制度調和に係る共同研究調査事業」（特許庁委託）として、研究者の海外派遣を実施しております。今年度の派遣研究者と研究テーマ等の一覧は以下のとおりです。

氏名（現職）	研究テーマ（派遣先）	派遣日程
押鴨 涼子 （ヘルシンキ大学大学院 法学部 博士課程）	欧州各国における技術移転の実態に関する研究 （ドイツ マックスプランク・イノベーション競争研究所）	2018年5月16日～ 2019年11月15日
引地 麻由子 （川崎グリーン法律事務所、知的財産研究所 主任研究員）	知的財産に関する两岸協力が日本企業に与える影響について （台湾 国立台湾科技大学専利研究所）	2018年11月21日～ 2018年12月25日
家田 崇 （南山大学 教授）	ファッション・ローと産業財産権 （米国 フォードム大学ロースクール）	2018年11月26日～ 2019年2月28日

知財図書館からのご案内

当財団の図書館は、2018年10月15日より、同じビルの6階から5階に移転しました。引き続き皆様のご利用をお待ちしております。

当図書館へのアクセスやご利用方法については、ホームページでもご覧になれます。

【知財図書館】<https://www.iip.or.jp/library/>

～『IPジャーナル』投稿論文募集～

本誌では、投稿論文を募集しています。投稿できる原稿は、国内外の知的財産又はそれと密接に関連する法律（条約を含む）・判例上の問題および国内外の知的財産に関する実務上の問題（特に企業・団体等における知的財産マネジメントに関連するものが望ましい）に関する未発表の論文、判例批評、調査報告、翻訳であり、投稿資格としては、知的財産又はそれと密接に関連する領域の研究又は実務に従事している方ならどなたでも投稿できます。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

『IPジャーナル』ウェブサイト：<http://fdn-ip.or.jp/ipjournal/>